

SOPHIA 第一期卒園生より～

私は SOPHIA で小さい頃から英語に触れることができたことにとっても感謝しています。小学校、中学校、高等学校、大学と進学していくにつれて、時代の流れがグローバル化に向いて行き、学校が国際交流に力を入れていきました。その度に SOPHIA で培った英語力が私をサポートしてくれたと実感しました。

中学生の時に参加した、学校のニュージーランド交換留学プログラムではニュージーランドでホームステイを経験しました。完全に英語圏での生活でしたが、ホストファミリーの言うこともちゃんと聞き取れましたし、自分の要望も伝えることができたので、不自由さは感じずとても充実したプログラムにすることが出来ました。

高校生になってからは、先生に頼まれて学校が受け入れた留学生のアテンドや平和公園や宮島のガイドを手伝いました。高校2年生の時には USHSD(米国高校生外交官)という全国区の国際交流プログラムに参加しました。日米両国から選ばれた40名がお互いの国の文化や社会問題について意見交換をし、相互理解を深める2週間のプログラムです。プログラム中は事務連絡からプレゼンテーションやディスカッションまで全て英語で行い、日本文化の紹介も英語でしました。このプログラムに参加できたことは私にとって大きくプラスになるものでした。

英語力が役に立ったエピソードとしては、毎年6月に行われる、はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会というトライアスロンの大会で招待選手の個人コーチがオーストラリア人の方で、知り合いに通訳を頼まれたこともありました。

また、大学受験でも英語は武器であり、英語に自信を持てたからこそ高い目標に向かって他の科目を引き上げることに時間を使うことが出来ました。

このように、SOPHIA で小さい頃から英語に触れられたことで私はたくさんの経験をし、たくさんの国の人達と関わる事が出来ました。とても感謝しています。

私は現在、国立大学の医学部に通っています。研究室の勉強会で配られる論文は英語ですし、将来的には英語で論文を書かなければなりません。“必ず英語はできないといけない”と改めて実感しています。逆にいうならば、英語が出来れば海外の学会に参加するチャンスもありますし、WHO や MSF に参加して海外で活躍する人になることができます。私は海外でも活躍できる人になりたいと思っています。

SOPHIA で身につけた英語は、やはり使わなければ劣化していくのは事実ですが、一夜漬けではないのですぐに勘は戻ります。特に私はリスニング力と、英語でのコミュニケーション力には自信を持っています。語彙や文法は勉強すればできるようになりますが、英語を聞き取る耳や微妙な発音やニュアンス、自然な会話をする力はなかなか身につくものではありません。その力を小さい頃に自然に身につけることができたので、他のことに使う時間が増えたと思います。確実にアドバンテージになっていると思います。